

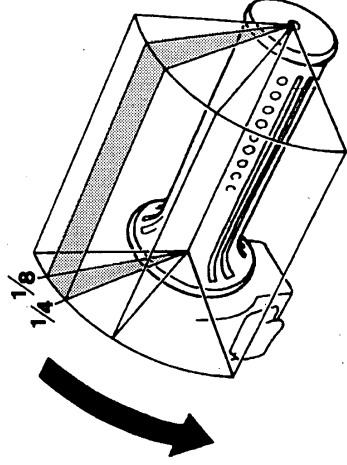
③ スロットルグリップを回さずに、スタータボタンを押します。



**注意**

- エンジンがかかったらすぐに、スタータボタンから手をはなしてください。
- エンジンが回転しているときスタータボタンを押さないでください。エンジンに悪影響を与えます。

- エンジンが暖まっていて3～4秒スタータボタンを押しても、エンジンがかからない。このような場合は、スロットルグリップを1/8～1/4ほど回すとかかりやすくなります。



- 長時間ご使用にならなかった場合や、ガス欠をしたときにガソリンを補給してもエンジンがかかりにくいことがあります。このようなときは、スロットルグリップを回さずにスタータボタンを普段より多目に使用してください。
- バッテリー上がりを防ぐため、スタータモーターは連続して15秒以上回さないでください。15秒以上回してもエンジンが始動しなかったときは、10秒以上待って再度スタータボタンを押してください。

④ エンジンが冷えているときは、エンジンがかかってからしばらくの間、そのまま暖機をしてください。

**注意**

- メインスイッチのキーを“ON”にしたとき、オイル警告灯が点灯した場合は、オイルが少なくなっているのです。できるだけ早目に推奨オイルホンダウルトラ2スーパーを補給してください。